

京都花山天文台の将来を考える会 令和5年度総会

日時：令和5年6月25日（日）13時20分～13時50分

場所：京都大学理学部4号館（インターネット使った会議システム）

議事

1. 令和4年度事業報告書
2. 令和5年度事業計画

以上

令和4年度事業報告

(令和4年(2022年)4月1日 ～ 令和5年(2023年)3月31日)

I. 概況

当法人は、任意団体「京都花山天文台の将来を考える会」を前身に、株式会社タダノ（代表取締役社長多田野宏一(設立時)）を設立者として、平成31年4月1日に「一般財団法人花山宇宙文化財団」として設立された。当法人の目的は、宇宙と自然に関する学術、研究、教育及び生涯教育の普及に寄与することとし、その目的に資するため、次の事業を行う。

- (1) 天文台、望遠鏡及びその歴史的資料に関する研究、開発及び技術情報の提供
- (2) 研究会、講演会、教育研修、講座、セミナー、各種イベント等当法人の目的に資する企画の運営、開催及び講師派遣
- (3) ベンチャー企業に対する技術情報等の提供及び各種支援
- (4) インキュベーション施設、四次元宇宙シアター、プラネタリウム及び各種研究施設の企画、賃貸、管理及び運営
- (5) 出版物、印刷物及びウェブサイトの企画、制作、発行及び販売
- (6) 各種情報の収集、分析、処理及び提供
- (7) 宿泊施設、駐車施設及び飲食店の企画、管理及び運営
- (8) 物品販売業
- (9) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

設立4年目となる令和4年度も新型コロナウイルス感染対策の影響を受けたが、講演イベント（講演会、金曜天文講話、宇宙天気基礎講座）はオンラインの活用を前提として計画したので、比較的円滑に開催できた。

特に、令和4年度から始めた宇宙天気基礎講座は時宜を得た企画となり、受講者は予想を上回る結果となった。好評を受ける形で令和5年度の開催へ発展的に繋ぐことができた。

土日公開はコロナ感染対策の見学人数制限などもあって、入場者確保に苦戦する状況が続いたが、まいまい京都との連携、親子連れキャンペーンなどの施策により徐々に収支の改善が図れた。また花山天文台応援コンサートは喜多郎音楽映像祭「千年の宙から」と題し、京都大学百周年時計台記念館にて12月17日に有観客で開催した。

一方、計上費用として予算化していた支払寄付金は京都大学天文台基金に予定額を振り込んだ。この費用は花山天文台の人件費に充てられ、天文台が行うアウトリーチ活動の遂行に活用されていく。

II. 実施事業の概要

1. 講演会

1) 「花山天文台の将来を考える会」総会に合わせて開催

開催日 令和4年7月3日 参加者約50名
会場 オンライン開催
講演テーマ 「定家の『明月記』客星記事 御子左家と冷泉家から公益財団法人・冷泉家時雨亭文庫へ」
講演者 冷泉為人氏

2) 「参加会」に合わせて開催

開催日 令和4年11月13日 参加者約40名
会場 オンライン開催
講演テーマ 「宇宙環境における人への影響～宇宙医学のご紹介～」
講演者 寺田昌弘氏

2. 金曜天文講話

第1回から第16回まで16回を全てオンライン方式で実施した。

	開催日	講演テーマ	講師	参加者 /申込件数
第1回	5月13日	宇宙の観測400年の歴史と京大岡山せいめい望遠鏡で見える世界	長田 哲也	46名/52件
第2回	5月27日	超初心者のためのブラックホールの話	嶺重 慎	49名/74件
第3回	6月1日	超新星観測で迫る大質量星最期の一年	前田 啓一	42名/50件
第4回	6月24日	太陽活動と地球	浅井 歩	39名/60件
第5回	7月8日	多様な衛星の多様な起源	佐々木 貴教	56名/74件
第6回	7月22日	コンピュータで探る太陽プラズマ	横山 央明	45名/52件
第7回	8月5日	ブラックホールから学ぶ次世代の物理学	田中 貴浩	59名/80件

第8回	8月26日	大宇宙のロマン—DVD「古事記と宇宙」映像の徹底解説	柴田 一成	54名/64件
第9回	10月14日	宇宙での距離の測り方	野上 大作	36名/47件
第10回	10月28日	せいめいの技術とその成長	栗田 光樹夫	32名/37件
第11回	11月11日	宇宙の果ての銀河を探す	太田 耕司	38名/53件
第12回	11月25日	X線観測で探る超大質量ブラックホールの謎	上田 佳宏	42名/59件
第13回	12月9日	日食と太陽コロナ	一本 潔	39名/45件
第14回	12月23日	量子論と相対論（超入門）	杉本 茂樹	49名/66件
第15回	1月13日	暇と退屈のポンコツ：木星に閃光が走った日	有松 亘	43名/58件
第16回	1月27日	太陽活動と地球・生命・人類	柴田 一成	34名/45件

3. 刊行物

会報第10号 発行日 令和4年4月20日 部数 1000部

会報第11号 発行日 令和4年9月30日 部数 1000部

4. 花山天文台土日公開

今年度は4月から継続して土日公開と観望会を実施できた。感染症対策のため受け入れ可能な人数が限られたが、3月末までに約1,000名の方が来訪した。

土日公開では6月に“まいまい京都「あつまれモダン建築部」部員限定スペシャルツアー”を開催し、7月から8月には“親子連れキャンペーン”を実施して見学者の増加を図った。他にも高校生を始めとする団体見学を複数回受け入れた。

観望会では10月に京都北ロータリークラブの支援を受け京都市小学生向け観望会を実施した。

加えて、土曜公開日における柴田理事長のミニ講演の中から抽出した「最近の太陽」についての解説を、毎週YouTubeで公開し、太陽活動の現状と花山天文台の特色（太陽観測）を多くの方々に知ってもらうように図った。

土日公開

実施期間：4月9日から3月28日まで計82日（一部、土日以外の曜日の見学を含む）。

参加人数：のべ775名

内容；土曜日（太陽スペクトル観望コース、1日3回）

日曜日（4次元デジタル宇宙シアター上映コース、1日3回）

観望会

実施期間：4月9日、5月7日、6月4日、7月9日、7月30日、8月27日、
9月17日、10月8日、10月22日、10月29日、11月19日、
12月10日、2月25日

参加人数：のべ231名

5. 宇宙天気基礎講座

花山天文台の特色を踏まえ、未来における人類の安全な宇宙進出、安全な地球社会を構築していくための基礎知識を習得いただくことを目的として「宇宙天気基礎講座」を企画した。入門編5回、応用編3回を開催し多数の参加者を得ることができた。この講座を通じて花山天文台の成果や宇宙天気研究の現状を広く知っていただき、花山天文台が実施する教育普及活動への支援を訴えた。

基礎編 5回連続講座 参加費：10,000円 木曜 15:00～17:00

応用編 3回連続講座 参加費：6,000円 木曜、日曜（第3回のみ）
15:00～17:00

全8回をオンラインにて開催した。

		開催日	講演テーマ	講師	申込件数
基礎編 （基礎から学べる宇宙天気）	第1回	4月21日	宇宙天気による「災害」の種類、社会への影響・生物への影響	柴田一成	163件
	第2回	5月26日	宇宙災害の要因／太陽の活動（1）	柴田一成	
	第3回	6月23日	宇宙災害の要因／太陽の活動（2）	柴田一成	

	第4回	7月28日	宇宙災害の要因／磁気圏の活動	小原隆博	
	第5回	8月25日	宇宙災害の要因／電離圏の活動	小原隆博	
応用編 (宇宙天 気災害と 宇宙天気 予報)	第1回	9月22日	宇宙天気災害の実例	小原隆博	90件
	第2回	10月13日	宇宙天気予報の最新動向	小原隆博	
	第3回	11月20日	今後の展望	齊田季実治 柴田一成	

6. ファンドレイジング

ファンドレイジングの専門家の参画を得て月1回程度の頻度で会議を行い、新規事業である宇宙天気基礎講座の遂行をフォローアップした。

- ・参加者の要望をフィードバックするためのアンケート改良。
- ・寄付の依頼・会員勧誘の工夫。
- ・来年度の講座の企画内容の検討。

7. 花山天文台応援 喜多郎音楽映像祭

花山天文台応援・喜多郎音楽映像祭を「千年の宙から」と題し、京都大学百周年時計台記念館において100名を越える観客を集めて開催した。本音楽映像祭は京都大学創立125周年記念行事の一環として行われた。

開催日：令和4年12月17日 18時半開演

会場：京都市左京区 京都大学百周年時計台記念館(大ホール)

共催：京都大学大学院理学研究科附属天文台、一般財団法人花山宇宙文化財団

出演者：(映像出演)喜多郎、岡野弘幹、鹿嶋静

(舞台出演)冷泉為人、冷泉貴実子、mama!milk、味方玄(観世流)

大野照文、柴田一成

参加協力券：3,500円

8. 天文台グッズの販売

1) 直接販売

土日公開では対面販売を行うことができ、昨年度より販売数量は増加した。

2) 委託販売

下記法人との委託販売契約を更新し、引き続き委託販売を依頼した。

- ① 学校法人京都精華大学・京都国際マンガミュージアム
- ② (株) アクティブケイ・京都大学博物館ショップ “ミュゼップ”

Ⅲ. 評議員および役員等に関する事項（令和5年3月31日現在）

評議員・理事・監事・事務局長

役職	氏名	肩書	就任年月日
評議員	稲盛豊実	公益財団法人稲盛財団 元専務理事	平成31年4月1日
評議員	佐藤文隆	京都大学 名誉教授	平成31年4月1日
評議員 (設立者)	多田野宏一	株式会社 タダノ 代表取締役会長	平成31年4月1日
評議員	長田哲也	京都大学 名誉教授	平成31年4月1日
評議員	藤原洋	株式会社 ブロードバンドタワー 代表取締役会長兼社長 CEO	平成31年4月1日
評議員	松本紘	公益財団法人国際高等研究所 所長、 京都大学 元総長	平成31年4月1日
評議員	村山昇作	一般社団法人 天体望遠鏡博物館 代表理事、 株式会社 iPS ポータル元代表取締役会長	平成31年4月1日
評議員	冷泉為人	公益財団法人 冷泉家時雨亭文庫 理事長 京都美術工芸大学 元学長	平成31年4月1日
理事長 (代表理事)	柴田一成	同志社大学特別客員教授 京都大学 名誉教授	令和3年6月8日
常務理事 (業務執行理事)	北川聡一	株式会社 文化工学研究所 専務取締役	令和3年12月16日
理事	位高光司	株式会社 KI 経営研究所 代表取締役、 京都経営者協会 元会長、 日新電機株式会社 元会長	令和3年6月8日

理事	尾池和夫	静岡県立大学 学長兼理事長、 京都大学 元総長	令和3年6月8日
理事	岡村勝	株式会社 ヒーロー 代表取締役	令和3年6月8日
理事	荻野司	合同会社 ゼロワン研究所 代表	令和3年6月8日
理事	西亨	株式会社 阪南コーポレーション 顧問	令和3年6月8日
理事	野上大作	京都大学 准教授	令和3年6月8日
理事	松田和典	M・G マーケティング研究所 所長	令和3年6月8日
監事	向井苑生	京都情報大学院大学 教授	令和元年11月25日
監事	吉田晴夫	住友銀行 元四国法人部次長	平成31年4月1日
事務局長	石井貴子	京都大学研究員	令和3年6月8日

参与

役職	氏名	肩書	就任年月日
特別参与	山極壽一	総合地球環境学研究所 所長、 京都大学 前総長	令和3年6月8日
参与	大野照文	高田短期大学特任教授、 京都大学名誉教授	令和3年6月8日
参与	岡崎甚幸	武庫川女子大学教授、 京都大学名誉教授	令和3年6月8日
参与	小崎哲哉	京都芸術大学大学院客員教授	令和3年6月8日
参与	喜多郎	音楽家	令和3年6月8日
参与	小山勝二	京都大学名誉教授	令和3年6月8日
参与	笹岡隆甫	未生流笹岡家元	令和3年6月8日
参与	鈴鹿可奈子	株式会社 聖護院八ッ橋総本店 専務取締役	令和3年6月8日
参与	竹宮恵子	漫画家、 元京都精華大学学長	令和3年6月8日
参与	田原博明	京都府人事委員会委員長、 元京都府教育委員会教育長	令和3年6月8日
参与	津田真	株式会社丹青社 チーフプランニング ディレクター	令和3年6月8日
参与	西靖雄	弁護士 (花山宇宙文化財団顧問弁護士)	令和3年6月8日
参与	長谷川和子	株式会社ケイアソシエイツ 代表	令和3年6月8日

参与	長谷川靖子	京都コンピュータ学院 学院長	令和3年6月8日
参与	丸川修	京都府総合教育センター、 京都府立図書館元館長	令和3年6月8日
参与	山崎直子	宇宙飛行士	令和3年6月8日
参与	わたなべ邦子	京都府議会議員	令和3年6月8日

IV. 職員に関する事項（令和5年3月31日現在）

事務局長 1名、（雇用関係にある）事務局員 1名。

V. 会議・会合

1. 評議員会・理事会

1) 令和4年度第1回理事会：令和4年5月27日

第1号議案：令和3年度事業報告及び収支決算書の承認を求める件

第2号議案：令和4年度定時評議員会を招集する件

報告1 職務執行状況報告（令和4年度第1回）

報告2 その他

2) 令和4年度定時評議員会：令和4年6月9日

第1号議案：令和3年度事業報告及び収支決算書の承認を求める件

報告1 令和3年度第2回、第3回理事会、令和4年度第1回理事会

報告2 宇宙天気基礎講座の開催

3) 令和4年度第2回理事会：令和4年12月15日

報告1 事業報告（令和4年度中間報告）

報告2 職務執行状況報告（令和4年度第2回）

4) 令和4年度第3回理事会：令和5年3月23日

第1号議案：令和5年度事業計画・予算

報告1 職務執行状況報告（令和4年度第3回）

2. 京都花山天文台の将来を考える会総会：令和4年7月3日

議題1 令和3年度事業報告

議題2 令和4年度事業計画

3. 令和4年度参加会：令和4年11月13日

議題1 令和3年度事業報告・決算書

議題2 令和4年度事業計画・予算書

VI. 会員に関する状況（令和5年2月28日現在）

賛助会員20名、一般会員248名。

(附属明細書の作成について)

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年6月
一般財団法人 花山宇宙文化財団

令和5年度事業計画

令和5年(2023年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日

I. 基本方針

新型コロナによって長く続いた規制が漸く緩和される見込みとなった。この状況を受け、各事業の実行についても自由度が増してくると予想される。短期的目標では児童、生徒、地域住民や観光客が自由に訪れて、天文・宇宙の世界に触れることができる天文台を目指しているが、その実現に向けて活動を進めていきたい。

短期的目標（1～3年）

- (1) 小中高校見学・実習を毎日受け入れ可能な体制を実現する。
- (2) 天体観望会や講演会、勉強会やワークショップ、芸術・文化系イベントを開催する。
- (3) 海外からを含む観光客を引きつける新たな魅力となる。
- (4) 上記を達成するため100人収容可能な講演室と資料室を建設する。

長期的目標（4～10年）

- (1) 4次元デジタル宇宙シアターやプラネタリウムの投影ができる宇宙科学館の設置を目指す。
- (2) 花山天文台の文化とも融合できるような、先端的ものづくりをテーマにしたインキュベーションセンターを設置し、オープンラボとする。
- (3) 星空観察会や野外コンサートなどの各種イベントが開催できる多目的広場を設置し、教育啓発活動を行う。

II. 事業計画

1) 会議・講演会

- ① 定例の評議員会を6月に開催する。
- ② 定例の理事会を6月(6月1日予定)、12月、3月に開催する。
- ③ 臨時の評議員会・理事会は必要に応じて開催する。
- ④ 参与会を秋ごろに天文台イベントに合わせて開催する。
- ⑤ 「花山天文台の将来を考える会」総会を6月(6月25日予定)に行い、併せて講演会を開催する。

なお、新型コロナの規制緩和状況を見極めつつ、当面はオンラインによる開催を優先して計画する。

2) 金曜天文講話

最新の天文学を一般の人を対象に分かり易く講義し、毎年好評を博してきた。オンライン方式となってからは参加者の地域も広がるという特徴が見られる。

5月から来年1月まで、16回の開催を計画し、京都大学理学研究科附属天文台ならびに宇宙物理学教室に協力依頼をしている。(天文台:協力許可済)

前期: 8回 (5月~8月)

後期: 8回 (10月~1月)

場所 Zoomによるオンライン開催

なお、新型コロナの規制緩和状況によっては、キャンパスプラザ京都での開催の可能性も検討する。

3) 刊行物

京都花山天文台の将来を考える会の会報として既に11回発行したが、同じ体裁で年2回の編集・発行を行い、情報発信に努める。

発行時期 4月、10月

内容 A4判、カラー、16~20頁、1000部程度

4) 花山天文台見学会

新型コロナの規制が続く間は事前申込に限定し、土曜日と日曜日の昼に公開を実施する。また、月に1回、土曜日の夜に星空観望会を実施する。団体利用なども適宜受け入れ、実施する。

京都大学理学研究科附属天文台との共催であるので、京都大学の新型コロナ規制の緩和状況に従って入場可能人数や自由観覧への移行が検討される。

5) 宇宙天気基礎講座

「宇宙天気予報」の重要性が広く認識される機会を捉え、企業や市民を対象にして2022年度に初開催し、多数の受講者を得た。2023年度の継続開催を求める声も多く、8回の講義と2回程度の実習(土日公開を活用)を計画する。京都大学理学研究科附属天文台の協力のもと開催。

基礎編講義: 5回 (4月~8月) (zoom)

応用編講義: 3回 (9月~11月) (zoom)

実習編: 2回(5月、7or8月) (花山天文台)

6) 花山天文台応援 喜多郎野外コンサート

世界的なシンセサイザー奏者・作曲家である喜多郎氏を招いて花山天文台応援野外コンサートを実施する。京都大学理学研究科附属天文台との共催予定。

開催時期 9月下旬(候補日: 9月30日)

場所 花山天文台を予定

7) 天文台グッズの販売

収益事業の一環と位置付けて天文台グッズ販売を継続する。現在の委託販売先である㈱アクティブケイ(京都大学博物館ショップ)、学校法人京都精華大学(京都国際マンガミュージアム)に加えて、京都大学生生活協同組合・時計台ショップとの委託販売契約を申し入れ中。

8) 宇宙落語会

“宇宙落語会と天体観望会 in うどん県さぬき 2023”を2023年9月17日に香川県さぬき市で財団の事業として主催する。

日 時 : 2023年9月17日(日) 14時~21時

プログラム :

14:00~17:00 宇宙落語会@源内音楽ホール(さぬき市鴨庄)

桂福丸(宇宙落語)、旭堂小南陵(講談)

柴田一成、村山昇作(講演、トークショー)

19:00~21:00 こども観望会(抽選50名)@テアトロン(さぬき市鴨庄大串公園)

福島福三/星空プロダクト社代表(天体観望)

主 催 : 一般財団法人花山宇宙文化財団

協 力 : 一般社団法人天体望遠鏡博物館、宇宙落語制作委員会

協 賛 : 一般財団法人多田野奨学会

後 援 : さぬき市、香川県教育委員会、さぬき市教育委員会

以上